



成均館大学がモトローラ・ソリューションズのボディ・カメラを導入してキャンパスのセキュリティを強化

成均館大学は、緊急時にリアルタイムで情報処理を行える VB400 ボディ・カメラを導入することで、職員の安全を確保し、業務を合理化して、効率性を向上させています。

成均館大学がボディ・カメラを導入することを決定した主な理由は、警備員の安全を確保するためでした。

公平な映像証拠を確保することで透明性が向上し、攻撃的行為やいさかい等に対処する警備員を守り、誤った非難やいわれのない罰則を避けることができます。



ユーザー

成均館大学

パートナー

Sun Communications Co., Ltd

業種

教育

導入機種

- VB400 ボディ・カメラ
- 統合型映像管理ソリューション
 - VideoManager
- スマートドッキングステーション
- RFID リーダー、RFID カード
- MOTOTRBO™ SL1M、R7
- MOTOTRBO™ ION
- WAVE PTX
 - TLK 100
 - EVOLVE



「警備スタッフは、週末の長時間にわたる厳しいシフトを一人で働くことが多く、パトロール中に挑発目的で不審者が近づいてくるなど、困難な状況に頻繁に遭遇します。また、抗議活動を行う団体に対応しなければならず、慎重に介入する必要もあります。このような場合、状況が展開する中で映像証拠を記録し、警備員を保護し、報復を防ぎ、もし事件が発生した場合には真実を確実に記録することが重要です」と、大学関係者は述べています。こういった点を踏まえ、成均館大学は 2023 年 9 月に、警備業務用にモトローラ・ソリューションズの VB400 ボディ・カメラを導入しました。

警備スタッフの安全確保のためのボディ・カメラ

「他国の警察官がボディ・カメラを使用している動画を YouTube で見たことで、同様のカメラが必要だと考えるに至りました」と担当者は説明しました。ボディ・カメラは、警備スタッフが業務中に直面するさまざまな状況や予期せぬ出来事を記録し、客観的な意思決定の根拠を提示してくれます。また、緊急時にはリアルタイムの情報を伝達し、迅速かつ適切な対応が取れるよう支援します。こういった利点により、ボディ・カメラは海外の警備の場面で主流となっており、成均館大学が選んだモトローラ・ソリューションズの VB400 ボディ・カメラは、英国と米国の警察でも盛んに利用されています。

エンドツーエンドな安全性と使いやすさを併せ持つ代表的ボディ・カメラ

成均館大学の安全警備部門の責任者は、ボディ・カメラの評価を行う際、データセキュリティや使いやすさといった重要な要素を検討しました。彼は次のようにコメントしました。「VB400 デバイスは、映像データを不正な閲覧やセキュリティ妨害から保護する優れたエンドツーエンド暗号化技術により、当大学にとって最有力の選択肢となりました。当大学の警備事業者も、このモデルが情報セキュリティ面のすべての要件を満たし、同社の社内方針に適合していると高く評価しました。さらに、VB400 の軽量で頑丈なデザインは、警備スタッフの利便性において有利であり、安心して決断を下すことができました。」

統合型管理プログラムによる個々の映像ファイルの効率的な管理

VB400 ボディ・カメラは、成均館大学の日常業務や警備の要件に適した機能が評価され、同大学に採用されました。

まず、VB400 はピアアシストレコーディング (PAR) 機能に対応しています。複数のボディ・カメラが近い位置にある場合、1 台のカメラで録画ボタンを押すと、Bluetooth で接続された他のボディ・カメラも即座に録画を開始します。この機能を使用することで、大学の警備チームは、5m の半径内で複数のボディ・カメラを同時に作動させることができます。これによりさまざまな角度や距離から現場をよりリアルに把握することが可能になります。

“

VB400 デバイスは、映像データを不正な閲覧やセキュリティ妨害から保護する優れたエンドツーエンド暗号化技術により、当大学にとって最有力の選択肢となりました。

さらに、VB400 の軽量で頑丈なデザインは、警備スタッフの利便性において有利であり、安心して決断を下すことができました。

- 成均館大学
安全警備部門責任者



二点目として、映像ファイルは即座にダウンロードすることができます。モトローラ・ソリューションズは、最大 14 台のビデオカメラを同時に充電できるマルチドック充電器を提供しています。VB400 がドックに設置されるとすぐに、VB400 に保存され暗号化された映像が自動的にかつ安全に VideoManager に転送されます。VideoManager は、個々の映像ファイルを効率的に保存、準備、共有するための統合型管理プログラムです。

第三の利点は、警備事業者が提供する互換性のある入館管理用 RFID カード(またはモトローラ・ソリューションズの RFID カード)と VB400 ボディ・カメラとの効果的な統合です。これにより、警備業務や映像管理が大幅に効率化されます。

警備員が RFID カードをボディ・カメラ管理カードリーダーにかざすと、十分に充電され十分な記憶容量がある VB400 が自動的に割り当てられます。RFID 認証により、異なる作業員が同じ VB400 を順番に使用した場合でも、そのカメラを誰が使用したかを特定することができます。このシステムは、大学の Wi-Fi ネットワークを介したリアルタイムのライブストリーミングに対応しており、サードパーティ製の映像管理システム(VMS)と統合することで、管理室のスタッフがボディ・カメラやその他のデバイスからライブストリーミング映像を監視・制御できるようになっています。

ボディ・カメラと無線機の統合

成均館大学はボディ・カメラの性能に満足しており、現在、すでにキャンパス内で使用している MOTOTRBO™ DMR 無線機とボディ・カメラを接続することで得られる運用上の利点を検討しています。同大学は最近、VB400 とモトローラ・ソリューションズの無線機ポートフォリオ(キャンパス内で警備チームが使用している EVOLVE LTE 無線機、MOTOTRBO R7 携帯型無線機、ION スマート無線機など)との統合に関する現地試験を完了しました。目標は、VB400 ボディ・カメラと無線機を連携させることで、リアルタイムの対応やリモートでの行動を可能にすることです。

「緊急時には、無線機から VB400 へアラートを送信して録画を開始したり、LTE 無線機や携帯電話を介して管理者にライブ映像を共有したりすることで、状況把握や迅速な対応を行えます。事故発生時には、リアルタイムの映像共有と遠隔操作が極めて重要となります」と、大学の安全警備部門責任者は説明しています。

VB400 の価値を認識している成均館大学は、警備以外の業務、たとえば施設管理のためにも使用することを検討しています。使いやすさ、管理の容易さ、堅牢な設計、強力なデータセキュリティ機能を備えた VB400 ボディ・カメラは、複数の接続方法に対応しており、警備チームは、キャンパス全体で多くの施設が使用されているさまざまな場所についての有用な情報を得ることができます。



モトローラ・ソリューションズのボディ・カメラ VB400 の利点

- 無線機との統合運用
- 第三者による映像ファイル悪用を防止するための暗号化機能
- 効率的な映像ファイル管理のための統合型管理プログラム
- 即座に映像ファイルをダウンロード可能
- ピアアシストレコーディング(PAR)に対応
- 長いバッテリー駆動時間
- 高品質な映像
- 堅牢な設計



モトローラ・ソリューションズのボディ・カメラ VB400 に関する詳細は
こちらをご覧ください:www.motorolasolutions.com/vb400

